

令和3年度 丹波篠山市立西紀南小学校 学習や生活に関する学力向上プラン

本校は、全国学力・学習状況調査(6年生)と丹波篠山市学力・学習状況調査(3・4・5・6年生)の結果をもとに授業等の改善を行うため、「学習や生活に関する学力向上プラン」を作成しています。学力の定着状況をご理解いただき、子どもたちの学習・生活習慣の改善、さらに学校の教育活動にご支援をお願いします。

全体的な状況及び課題

【全国学力・学習状況調査および丹波篠山市学力・生活習慣状況調査の結果の概要】

西紀南小学校全体の結果について

全国学力・学習状況調査(6年生対象)について、国語科は目標値及び全国平均を上回る結果でした。算数科については、目標値及び全国平均とほぼ同程度であり、問題によっては上回る結果でした。丹波篠山市学力・生活習慣状況調査(3・4・5・6年生対象)は、教科により目標値及び全国平均と市町村平均を上回る結果と下回る結果が出ています。

国語科の結果について

3年生については、物語文の内容の大体を捉える「読む力」、4年生については、主語と述語についての理解やローマ字で正しく記載する「言葉の学習」、5年生については、説明文の内容を捉える「読む力」が高い正答率になっています。また、6年生については、話の内容を聞き取る「話すこと・聞くこと」や言葉の特徴や使い方に関する「知識及び技能」の正答率が高い結果になっています。

しかし、3年生については、漢字の読み書きについてや説明文における情報と情報の関係を理解すること、4年生については、情報と情報の関係について理解し根拠を示して書くこと、5年生については、複数の情報を関連付けて話の要旨を捉えること、6年生については、目的に応じ、文章と資料とを関連付けて必要な情報を見つけることに課題が見られました。

算数科の結果について

3年生については、「データの活用」「図形」、4年生については、「測定」、5年生については、「数と計算」「図形」の領域での問題の正答率が高い結果になっています。日々の授業で取り組んできた「計算スキルの反復学習」「自分の考えをノートにまとめる」「家庭学習」等の成果が出ています。しかし、どの学年も「文章問題」において題意を正確に捉えて考えることや、必要な情報を読み取ったり、複数の情報を関連付けて思考する問題に課題が見られました。

学習生活習慣について

学習・生活習慣調査では、毎日の朝食や早寝早起きをはじめ、全体的に規則正しい生活をおくることができているという結果が出ています。しかし、「朝 自分で起きることができない。」と回答した児童がどの学年にも3~4割いました。家庭での1日あたりの学習時間が全国と比べて高く、高学年については、「ほぼ毎日家庭学習をしている」「計画的に学習できている」と回答した児童の割合が高いことが分かりました。宿題を含め、自主学習を意欲的に取り組んでいる児童が多いことが分かります。また、どの学年も8割以上の児童が「夢や目標がある」と回答しています。働くことへの関心や夢の実現に向けた学習への高い意欲など、児童一人一人のキャリア発達が見られます。しかしながら、ゲームやインターネットを長時間している児童が多く、情報機器への高い関心が伺えます。

学力向上に向けて(今後の対応)

毎年、学力調査の結果をもとに、「国語科」「算数科」においてこれまでの学力向上の取組を見つめ直し、学校として「授業の工夫」・「基礎的内容の習得」について一層の取組を考えてきました。今年度も、結果の分析を通して『子どもたちに必要な力は何か』、その力をつけるために『どのように授業を改善していけばよいのか』という授業改善の視点を検討しました。

国語科

文章の中から大事な言葉を見つけて考えたことを表現する力、目的や意図に応じて、自分の考えを支える理由や根拠を明確にして書く力、目的に応じて、文章と文章・文章と図表などを結びつけて必要な情報を見つけながら読む力が身につくよう指導していきます。

- ・基礎学力となる学年相当の漢字学習や語彙を増やす学習を朝のスキルタイム(国語科)で繰り返し取り組みます。
- ・テーマや字数制限など「条件付き作文」の書き方を学ぶ機会を増やしていきます。
- ・目的に応じて、文章だけでなく、写真や図、表などを活用して説明する文章を書く活動を取り入れていきます。
- ・重要な語句を見つける(印をつける、線を引く)とともに叙述に沿って読み取ったり、読み取ったことを基に話し合ったりする学習に取り組みます。
- ・「読むこと」の指導に関して、友達の考えと自分の考えを比べたり、関係付けたりしながら表現することや、結論を理由や根拠をつけて、明確に話すことを指導していきます。

算数科

様々な問題を通して、問題文の内容を整理し必要な情報を見つけて、答えが導き出せるよう指導していきます。また、基礎基本の計算スキルの向上を目指し反復的な取組を進めます。

- ・作業的、体験的な算数活動を取り入れ、ICTや具体物を活用し、イメージで操作できるよう繰り返し取り組みます。
- ・算数的な表現(絵、図、テープ、数直線、言葉の式など)を中心にした問題解決学習をすすめ、思考の過程や結果を交流する場を設定し、筋道立てて説明する活動を取り入れていきます。
- ・問題文全体を注意深く読み、線を引いたり、書き込んだりすることを習慣づけていきます。
- ・生活と結びついた授業の展開により、量感を豊かにしたり、見当をつけたりして問題に取り組みさせていきます。

学習生活習慣について

これまで同様、子どもたちの学習や生活習慣が崩れないよう家庭との連携を密に図っていきます。学期に1度の「みなみん生活週間」の実施による生活の見直しを行い、「心」と「習慣」の両方から子どもたちの変化に気付いていく取組を進めます。また、一人一台端末導入にあたり、各学年に応じた情報機器の使い方や情報モラルについて学習を深め、正しい知識を身に付けられるよう取り組んでいきます。そして、児童会や委員会活動、係活動などで達成感や充実感をもつ経験を積み重ね、課題解決能力を育むとともに、将来に向けたキャリア教育を推進していきます。

さらに、自ら考え継続してできる自主学習を意欲的に取り組めるよう、お互いのコメントを伝え合ったり、がんばりに応じて評価をしたり、努力の積み重ねが自信になるよう一層の学力の向上に努めていきます。

【保護者の皆様へのお願い】

丹波篠山市学力・生活習慣状況調査(3・4・5・6年生対象)、全国学力・学習状況調査(6年生対象)の結果に基づいて、本プランを提案したねらいは、児童の実態や課題を明確にし、課題解決に向けて学校と家庭が連携して学力の向上に取り組むことにあります。

- ・家庭学習の定着が良い結果にも出ていますので、引き続き励ましの声かけをよろしくお願い致します。
- ・自主学習を活用し、予習や復習をしっかりと行うことや読書や音読習慣を身に付けていけるよう、ご家庭でもご協力をお願い致します。

今後も、学校と家庭が連携し、子どもたちのさらなる成長を見守っていきたくと考えております。